



奈良・人と自然の会

＜わたしたちは大和の自然を愛します＞

原子力発電は是か非か

川井 秀夫

去月、福井県の関電 大飯発電所を見学して来ました。4年前にも見学しましたが、今回は施設の周辺からの見学となり、女性従業員の菌切れの良い案内で、満足な見学会でした。現在日本には52基の発電施設がありますが、相次いだ事故により新しい発電計画は凍結されております。我々の住む近畿圏の消費電力はこの「大飯」から主に供給されています。

日本の原子力は、総エネルギーの中で35%占めていますが、自給率で見ると他国との比較では低く19%、原子力を除くと4%に過ぎません。石油の高騰、CO₂の排出、また将来の展望を考えると現状の姿に不安がよぎります。

不安といえば、国際世論は原子力には否定的な国が多く、日本の社会も必ずしも肯定的ではありません。しかし、ここにきて原子力全廃を唱えたスウェーデンが新しい建設を始め、否定的だったドイツも大型プロジェクトが進んでいます。

日本では供給不足から、水力（黒部ダム）の出力を上げ、火力（天然ガス・石炭）新エネルギー（太陽光・風力・水素等）によりバランスが保たれてはいますが、恒久的な施策が見えては来ません。

私は以前から未来のエネルギーは原子力だと、肯定的に考えて来ました。あなたはどちらを支持しますか。

恐らく否定される方の多くは、放射線による安全・安心が確信ができないからでしょう。放射線はややもすると、原子爆弾の核爆発と同一原理であると思われる方が大半だと思います。ここで説明するスペースがありませんが、例示を挙げて説明いたしますと。

- ① 人間が時速200キロで走ることは安全かどうか。自転車に強いエンジンを付けて200キロで走ればどうか。危険に決まっています。

整備された車で、整備された高速道路で、熟練した信頼できる人が運転すれば相当安全だと言えます。原子力もシステムが万全で、管理者が有能で良心的ならば安全なのです。

- ② 食塩を適切な量を摂れば安全で栄養になりますが摂り過ぎれば高血圧になります。つまり危険な物質を、どういうふうに管理して運用したかという事が安全か、そうでないかの分かれみちだと思います。

安全な状態とはどういうことか。故障も何も起こらない状態なのか。放射能で放射線が漏れなければ良いのか。漏れても人間に被害が出なければ良いのか。

また国民的合意とは、一人でも反対すれば合意できないのか。半数以上が反対したら駄目なのか。これらの定義をしっかりと考える必要があると思います。

また、マスコミも問題があると、すぐセーセーショナルに報道します。情報技術でも生命科学でも目覚ましい進歩の一方で、危険な側面をもっているのでは無いでしょうか。

原子力施設を受け入れた福井県の方々に敬意を表します。色々な側面がありますが、未来を語る時、人間の営みに不可欠なエネルギー問題は、大きな国家的課題だと思います。

日時 9月24日(日)晴 AM9:45時

テーマ ロープで遊ぶ・自然工作

場所 奈良市黒髪山キャンプフィールド

参加者 小学生 58名

スタッフ (1)黒髪山運営協議会]11名(境、他)午前中ロープで遊び、学ぶ

(2)奈良・人と自然の会]午後自然工作

樋口、古川、齋藤、阿部、本郷、小嶋

概要 午前中は境さん中心にロープの結び方や前日に用意されたモンキーブリッジ、2本せう等で子供達は学び遊んでいた。

我々6名は自由工作材料の不足分を全員で用意した。午後1時から6班に別れ原則のブーちゃん、ワニちゃんのペンダントを作った後は用意した材料で自由工作とした。

いつもの事ながら子供達の個性豊かな発想に感心する。1人で沢山作る子、じっくり考える子、時間が来ても創作を止めない子、出来た作品を見せ合い子供らしく喜ぶ顔を見て疲れもなくなる。

自由工作で刃物、キリを使ったのでスタッフはかない神経を使い疲れたが、大きな事故もなく3時20分終了、子供達の自由な発想が引き出せて良かったのではと思いました。

9月度 野外活動 例会

『巨勢の道を行く』 報告

担当 川井 秀夫

日 時 9月 25日(月)近鉄 葛 駅 10時集合 天候 晴れ

行 程 葛 駅⇒巨勢寺跡⇒阿吽寺⇒水落古墳⇒川合八幡神社⇒栗坂峠⇒

葛城坐御歳神社⇒船宿寺⇒御所駅 解散 3:00 歩程 11キロ

参加者 弓場(厚)・弓場(京)・岩田・小嶋・斎藤・平塚・小森・吉村・福谷・渡辺・守口

川井 12名

御所市。古代ロマンを感じながら、初秋の巨勢の道を行く。

稲穂の黄金。柿・栗 成熟間近かの緑青。曼珠沙華の深紅。素晴らしい自然の秋色に魅せられ葛駅から船宿寺に向かう。

巨勢寺跡では、時空を経て豪族 巨勢氏の氏寺として、礎石、大日堂が往時の栄華の跡を偲ばせ、沈黙の大櫓がロマンの語り部となる。

巨勢寺の子寺 阿吽寺を訪ねる。今は無住寺だが、丹精込めた「つらつら椿」の鉢植え、背景の巨勢山には植樹、早春には見事な様子が伺える。

水落古墳では、幸い管理の古老に会い羨道から入室。南北の双墳は蘇我の蝦夷・入鹿の墓との定説だったが、最近の学術調査で覆り、謎が残るとのこと。

八幡神社で昼食。棕櫚の葉っぱでバツタのミニ工作教室が始まる。斎藤 和子さんが器用な指先で形作られていく。暫し生徒連中 夢中。

一路、栗坂峠を目指す。里山、田園風景を視野に入れ、曼珠沙華が旬。集落を抜けて栗坂峠に出る。眼前に金剛・葛城の山容がパノラマ状に広がる。ハラショー。

御歳神社。稲の守護神にまつわる神話を一席。文明のない素朴な時代の伝承にはロマンがある。

予定通り船宿寺に着く。ヒラドツツジで有名な花の二十五ヶ寺だが、この時季 花の姿は無く少し残念なフニシュとなる。少しでも古代のロマンを感じていただけたでしょうか。

新入会の平塚さん、渡辺さん、守口さん また来て下さい。

第17回近畿自然歩道・まほろばの路 行事報告

円生川上神社中社と巨木を巡る路

担当 小端

〔日時〕10月7日(土) 曇り時に小雨、時に晴

近鉄橿原駅 9時集合

〔行程〕橿原駅9時20分→バス(50分)→杉谷出合橋→宝蔵寺→八坂神社→木津→伊豆尾→谷山橋→木津川→円覚寺→円生川上神社→蟻通→バス橿原駅3時40分着
昨夜来の雨も朝には止むとの予報でしたが家を出る時やっと上がるも、まだ西は暗い。参加者が少ないと予想したが総勢9名が集合、バスは10分も走ると我々の満ちり状態。杉谷出合橋で下車、少し歩き宝蔵寺で挨拶と準備運動、本日の晴を祈る。しだれ桜の古木をあとに八坂神社の杉、ケヤキ、ムクの巨木や櫓の古木に圧倒される。途中天候の事もあり自然歩道を一寸はずれ、ひたすら溪流沿いの舗道を歩くも更にごく稀、両側の草花の観察の講師は小田久美子さん熱心な記録係は吉村さつきさん51種も記録。

伊豆尾の集落6軒のどの家も留守や空家で過疎を実感、雨の為やむをえず軒下を借りて、にぎやかに昼食。

木津川の集落では、およそ考えられない山桜の巨木に全員が感嘆、円覚寺の銀木屋の古木の花は数輪が咲いていた。

終着点の円生川上神社中社では天然記念物のツルマンリョウ、コウヤマキの古木、スギの巨木に出会い又、鮎と言う字の語源は天武天皇が川に魚が沢山浮くと天下を平定できると占い、この神社の前の川に魚が浮いた事からアコは鮎となった事。

此の集落の地名は蟻通(イチリョウとも言われる)でめでたいとの事、新年にお飾りに使う 千面、万面アイトウシ だそうです。

今回は天候も目まぐるしかったが、清流と沢山の巨木、古木に出会い触れ、終着点近になると、日差しもさして来てサワガニも歓迎してくれた。

身体と脳に心地よい刺激を受け橿原駅で元気に解散した。

参加者 川井 弓場厚 大石 小田久 齋藤 林 吉村さ 福谷

下見 弓場(厚、京子)小端

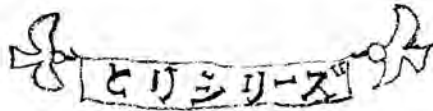
つる竜胆吉野の雨は峽に落つ

川井 秀夫

10月まほろばシリーズ 吉野路。

丹生川上神社（中社）、蔓竜胆と叶大杉が印象的。高見川の清流また佳し。

深い峡谷に水神の降らす秋雨が情感をそそる。



シ メ

小田 久美子

小太りで嘴が太くイカルに似ていますが、鋭い目付きのこの鳥の学名は、ギリシャ語で「穀物を打ち砕くもの」。日本でも俗名が、まめうち、まめはじき、まめどり、まめわり等と豆の付く名が多くあります。

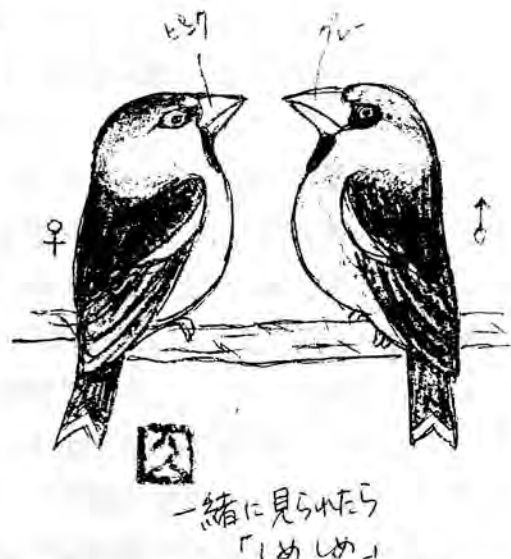
太い嘴で硬い木の実を難なく割ってしまい、嘴挟む力は70kg位あるそうでビックリです。

今年4/17平群中央公園のザイフリボクを見に行きましたら、聞き慣れない鳥の声、花をそっちのけにじっと観察していると沢山のシメが鳴き交わしながら飛び交っていました。

冬の「キッ」、「チッ」と鋭い呟きしか聞いたこと

がなかったので、か細い可愛い声とあの鋭い目つき（を思い出して）のギャップに思わず笑みがこぼれました。

渡りの時には群れで、越冬地では単独で行動するツグミと同じタイプの鳥。林内から林縁部で見られ、雌雄で色が違うので一緒に見たら「シメシメ」と得した感じがします。



地域情報

或情報

「ジョウビタキ」の初認日 10/17

★10月19日コサメビタキ（中国北東部、サハリン等で繁殖し東南アジアで越冬する）興福寺にいました。・アカツクシガモ（日本には稀な冬鳥として飛来）秋篠近くの乾池にいました。（小田）

★（斑鳩にて）エゾビタキ（旅鳥）10羽ほどが三室山で10月3日～19日見ました。ラッキーでした。・10/12 マガモ初認エクリプス・10/15 コガモ初認エクリプス・10/23 ジョービタキ初認・コシアカツバメ 10/21 106羽・22.250羽・23.80羽（勝田）

★雨水溜めパールの中のオタマジャクシのいっちゃんの後ろ足ができました。3センチ位の体長でかわいいいっちゃん足です。暖かいうちにカエルになって冬眠して欲しいです。

・秋野菜の種を蒔いてなんで芽がでないのか？と畝の土をみていたら小さい茶色のアリが自分の体くらいの種を運んでいました。種は殆どなくなりました。また種を買ってきて蒔き直しました。今10センチのタマネギの苗に育っています。（齋藤和）



【奈良忍辱山森林整備作業】

- 〈場 所〉 奈良忍辱山国有林 (淀川、木津川、白砂川の源流域)
(忍辱山円成寺駐車場) より徒歩10分 柳生街道沿い。初回作業地隣
- 〈集合場所〉 国道369号線
忍辱山円成寺駐車場 (バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の中間)
- 〈日 時〉 11月 5日 (日) 9時20分 第59回
11月16日 (木) 10時20分 第60回
12月 2日 (土) 9時20分 第61回
12月21日 (木) 10時20分 第62回
(終了予定) 午後3時頃
- 〈天 候〉 午前6時 奈良県北西部に警報が出されている場合は中止いたします
- 〈交 通〉 奈良交通バス
平日 [梅の郷月ヶ瀬温泉行き]
土・日・祝 [柳生行き]
JR奈良駅⑥番乗り場 近鉄奈良駅④番乗り場 忍辱山円成寺
日祝 8:26 8:29 9:02
平日 9:30 9:33 10:06
臨時バス お問い合わせ 奈良交通 ☎0742(20)3100
- 〈持ち物〉 ヘルメット (防災用)、手袋、スバツ、鋸、防護眼鏡、弁当、飲み物
ヘルメット、防護眼鏡、鋸等の用具は当会にて多少は用意しております
《未経験者には基本より指導いたしますのでお気軽に。森林を楽しみましょう。》
作業をしなくても結構です。森林浴を楽しんで下さい。待ってます。
- 〈連絡先〉 弓場厚次
阿部和生
寺田正博

【作業報告】

10月3日 (火) 晴 素晴らしい秋晴れ

〈参加者〉 小森、明石、弓場、阿部、寺田。 5名

本日より、新作業地になりました。

今回の作業地は柳生街道 (東海自然歩道) 沿いの第一回作業場に隣接した自然二次林です。人工林ではなく、種々の樹木、草も、羊歯も生えている豊かな自然林です。

東海自然歩道を散策される方が通行されます。そこを皆様方に美しい森林を感じて頂く素晴らしい、感動して頂く森林にする作業です。

【会員の皆様の積極的なご参加をお願いいたします。】 お待ちしております。

3日の初日は作業地の周辺確認を全員で実施致しました。足場の悪い所もありますが植物も豊で素晴らしい森です。今後の作業計画を討議し、3時に終了。

[奈良・人と自然の会]創立5周年記念

曾爾高原泊研修・懇親のつどい

☆☆豊かな自然の中での講演・観覧会

心に残る懇親の雫を開催☆☆

「日時」 平成18年11月8日(水)・11月9日(木)

「集合」 近鉄大阪線 名張駅西口 9時15分

「宿泊施設」国立曽爾青少年自然の家 TEL0745-96-2121

「持ち物」 「しおり」および「しおり」に記載の持ち物を持参ください。

「参加予定者」 30名 (お会いするのを楽しみにしています)

「世話人」 岩田 利秋

小嶋 敏勝

ミミズ・フェスティバル in 十津川・大塔 大ミミズ搜索・講演会 のご案内(2報)

ミミズ研究談話会の主催、十津川村教育委員会と五條市教育委員会の後援でミミズ・フェスティバルを開催し、日本では一番大きな「奈良の大ミミズ」の講演会と生息が有望な十津川村山手谷で大ミミズの搜索が行われます。ご講演は京都大学名誉教授 渡辺 弘之先生と成蹊高校教諭 石塚 小太郎先生のお二人が、また搜索会に十津川高校教諭 浅見 卓先生も参加されます。

会場は五條市大塔と十津川村で、私たち「奈良・人と自然の会」の地元でもあり、本フェスティバルに当会として協賛いたしております。会員の皆様には少々遠方になりますが、ぜひともミミズ・フェスティバルに参加して大ミミズの新種の発見に寄与しませんか。

日時・会場 : 11月11日(土) Pm 2:00~3:00 五條市 大塔ふれあい交流館(講演会のみ)
11月12日(日) Am10:00~11:00 十津川村役場 住民ホールと搜索会

宿 泊 : 源泉かけ流しの各温泉を十津川観光協会が紹介いたします。

交 通 : ・ 自家用車でご参加の方は会場に直接ご参集ください。

・ バス御利用の方は【奈良交通バス】新宮行き特急バスを利用。

* 10月度のご案内のバス時刻は 10月1日改正で変更になりました。

八木 JR五條 大塔温泉 十津川村役場 折立
(ふれあい交流館)(湯泉地温泉)

11月11日(特) 9:13 → 10:25 → 11:41 → 13:10
16:13 → 17:42

11月11・12日(五條への帰り) 18:50 ← 17:27 ← 16:13 ← 15:59

【担 当】 : 弓場 厚次

☆問い合わせ等どうぞ。

* 当会の情報は奈良ボランティアネットのイベント情報に紹介されています。

<http://www.nvn.pref.nara.jp>

第18回近畿自然歩道まほろばの路

みたらい溪谷を巡る路

二翠の溪谷、紅燃ゆる山肌、大峰登山の玄関口、洞川の里を散策しませんか。

【日時】 11月20日(月)

【集合場所】 近鉄吉野線下市口 9:05 (9:15のバスに乗車します)

【交通】 阿倍野橋7:50～橿原神宮8:29～下市口9:04
西大寺7:57～橿原神宮8:26

【行程】 天川川合～展望台～みたらい溪谷～竜泉寺 約8km

【持物】 弁当、雨具、観察用具

【担当】 大石門三

<12月の予定>

12月度例会『春日原始林 自然観察会』

本年掉尾の研修会となります。紅葉・巨木・珍木等 春日山の植生を楽しんでください。
当地域に詳しい 林 令子 氏がご案内致します。

記

- 1 日時 12月 4日(月) AM 10:00～PM 3:00
- 2 場所 春日原始林
- 3 集合 近鉄 奈良駅 行基菩薩像前 AM 10:00
- 4 コース 春日原始林 遊歩道 特別選定コース(観察ポイント 当日地図配布)
- 5 準備 弁当持参 観察用具 飲み物 ほか
- 6 忘年会 本年最後の例会となり、会員各位との懇親を深めたいと存じます。
オリジナル料理の夕食会として実施致しますので、気軽にご参加下さい。
開宴 3:30分 終宴 5:30分 [会費] 男性:4000円 女性:3000円
- 7 世話人 林 令子 川井 秀夫

第19回近畿自然歩道・まほろばの路

【コース名】 〈五條、維新をたずねる道〉*

「日程」 12月12日(火)

「集合」 JR五條駅 午前10時30分

「コース」 五條の旧紀州街道から吉野川に沿ってJR岡田駅まで、約6,3km

詳しくは12月号にて。

* 当初、12月は「津風呂湖畔をめぐるみち」でしたが交通事情(路線バスの運行)のため、変更致しました。ご了承ください。

《担当》 寺田正博

協力活動 「いこま棚田クラブ」活動ご案内

[11月の取り組み]

向山の整備、草刈り、石垣出し さつま芋の収穫、椎茸の収穫、

竹炭釜での炭作り…炭焼きに興味の方、経験者の方ご参加ください(縦型で3~4時間)

時期も到来 本格的に 取り組みたい

◇ 作業日…11月5日(日)、13日(月)、19日(日)、26日(月)、

「エコアップ教室」10月19日「都島エコクラブ」来訪予定です。

◇ 集合場所…近鉄生駒駅下車(鶴橋駅より快速15分)南口側ケーブル鳥居口駅西隣

セブンイレブン前 9:00集合(現地まで車で移動約15分)

◇ 持ち物…弁当、飲み物、観察用品、軍手、長靴

◇ 連絡先…事務局 大寺道代

☆向山(二次林)の整備が始まります。森林浴をしながら作業に参加しませんか!

平成18年10月定例幹事会議事録

日時 : 10月3日 午後5時30分~8時30分 場所: 奈良県女性センター

出席者: 13名、 司会: 岩田 書記: 古川

「報告事項」

(1) 会員数: 94名 現金残高: 377,278円

(2) 9月例会 「巨勢の路」参加者 12名 詳細は次月の会報に記載

(3) 近畿自然歩道・まほろばの路「高見山を越える路」参加者 6名 10月会報参照

(4) 忍辱山森林整備作業 9月21日参加者9名 第2次事業地完了、期間中無事故
10月より新たな事業地1.45haの雑木林自然林を手がける

(5) 黒髪山自然塾

9月24日 自然工作の指導、参加者数55人 当方よりの支援者6名。好評理に終始、

(6) いこま棚田クラブ

4回の例会のほか、「里山回復事業の対象地区の測量への立会い」(9月20日)

「地域子ども教室」(八尾青少年会館主催小学生15名付添2名)(9月30日)

(7) ミミズフェスタへの協賛・参加(10月会報に案内掲載) 当会より有志が参加

「承認事項」

・全労災助成金の使途: 森林作業用刈払機一式 計64,241円の購入の件 承認

「討議事項」

(1) 12月の定例行事の変更

・12月予定の「飛鳥路(八釣地区)の観察会と忘年会」は「春日奥山にもみじを尋ねる路と忘年会(万葉荘)」12月4日(月)に変更 担当: 川井、勝田、林

(2) 「森林教室」3月24日(土) 詳細は後日決定 担当: 阿部

(3) その他

・1月幹事会について 1月9日(火)企画委員会 1月16日(火)

・「会員にとって魅力ある行事を考える」ため会員アンケートを実施する 担当: 岩田

編集担当: 勝田 均

TEL&F

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫